



1月 ちとせだより

2023. 1. 1

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

新年あけましておめでとうございます。コロナ禍は第8波を迎えて、感染者数は減少することなく、季節性のインフルエンザや胃腸風邪なども流行した昨年末でしたが、改めて健康の大切さを再認識いたしました。また、ここ数年コロナ禍を通じて、当たり前ことができなくなった経験をしてきたからこそ、当たり前のできる喜びや大切さを知ることができたのではないのでしょうか。この年末年始も以前に近いような形で、帰省風景や旅行風景をテレビの画面上で見ることができました。みなさんは、どのような年末年始をお過ごしになったのでしょうか？

私の幼少期における年末年始は、必ず帰省し、年に1回会うか会わないかくらいの親族が一堂に集まって、年始の挨拶をしてからお節料理やお雑煮を食べたり、正月ならではの遊び（カルタ、百人一首、凧揚げなど）をよくしたものでした。そして大人に会えば、お年玉がもらえるとワクワクしながら、どこの誰か？よくわからない親族に「大きくなったなあ」と声をかけてもらいお年玉をもらっていたことをよく覚えています。

古くから伝わる日本の年末年始の行事は、核家族化が進む中でもたくさんの人と出会ったり、話したり、人と人とのつながりを改めて感じさせてくれる機会です。このコロナ禍を通じても忘れてはいけない、当たり前で大切なことだと認識していたのですが、そんな中、ポチ袋に入れてもらっていたお年玉もキャッシュレス化に変わってきているとニュースで報道されていました。直接会わなくてもやりとりができ、渡す方ももらう方も便利だからということが主な理由だそうですが、便利さを追求していくあまり、人間同士の関係はどんどん希薄になっていっているのかもしれませんが、しかし、どこまで便利な世の中になっても、この社会で生きている限り、1人では生きていくことはできず、人間同士の関係は避けられないですし、人と関わっていく力も勉強をして学ぶ知識、技術ではなく、実体験で得たものでしかありません。

幼稚園でも2023年の新たな歩みが始まります。子どもたちが他者と出会い、交わりを通じてこそ、人として成長していけることを信じて、幼稚園の保育ではあえて便利さを追求せず、子どもたち同士が子どもたちの力で関わっていく機会を大切に見守っていきたいと思います。

【年主題】

『つながって』～今、わたしを生きる～

【年主題聖句】

主がすべての災いを遠ざけてあなたを見守り
あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも帰るのも
主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。（詩編121編7～8節）

1月主題 「なかまとひびきあう」

聖句 「一緒に喜んでください。」（ルカによる福音書15章6節）